



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,479	6.3	△815	—	△887	—	△336	—
2019年3月期第3四半期	19,264	△51.7	276	—	235	—	△8	—

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 △915百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△1.16	—
2019年3月期第3四半期	△0.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	8,139	6,233	78.1	21.93
2019年3月期	7,795	6,699	85.8	23.10

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 6,353百万円 2019年3月期 6,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	4.7	△1,030	—	△1,100	—	△420	—	△1.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	289,747,982 株	2019年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	100,041 株	2019年3月期	98,582 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	289,648,711 株	2019年3月期3Q	289,650,054 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化や中東情勢を巡る地政学的リスク、世界経済の不確実性による下振れ懸念等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国利下げや米中貿易摩擦の長期化、地政学的リスク等を背景に安全資産として金需要が高まり上昇基調で推移いたしました。業績につきましては、金価格の上昇が寄与したことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は堅調であり、不動産賃貸業界においては、都心部の優良オフィスを中心に空室率は低水準で推移し、賃料水準においても上昇傾向が続く等、堅調に推移いたしました。業績につきましては、都内の販売用不動産において販売損失があったものの、福岡県福岡市の販売用不動産の売却が寄与したことから好調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦を背景に設備投資意欲の冷え込み等、受注環境は低調に推移しており、中古工作機械業界においても厳しい環境下にあったことから、業績は低調に推移いたしました。投資事業においては、東京商品取引所東京金先物に投資を行っており、運用損失及び評価損失を計上したことから業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売の他、各種物販イベントに多数出展、アニメ制作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加等、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しており、業績は概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は20,479,583千円（前年同四半期19,264,268千円6.3%増）、営業損益は815,155千円の損失（前年同四半期276,956千円の利益）、経常損益は887,788千円の損失（前年同四半期235,438千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は336,548千円の損失（前年同四半期8,344千円の損失）となりました。

セグメントの別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は18,590,505千円（前年同四半期17,021,168千円）、営業損益は132,703千円の利益（前年同四半期5,859千円の利益）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は1,223,135千円（前年同四半期197,865千円）、営業損益は340,507千円の利益（前年同四半期5,375千円の利益）となりました。

機械事業におきましては、売上高は765,309千円（前年同四半期985,589千円）、営業損益は1,774千円の損失（前年同四半期46,402千円の利益）となりました。

投資事業におきましては、営業損益は1,204,245千円の損失（前年同四半期467,624千円の利益）となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,034,466千円（前年同四半期584,461千円）、営業損益は208,985千円の利益（前年同四半期29,729千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より344,293千円増加し、8,139,946千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より661,762千円増加し、5,783,809千円となりました。

増加の主なもの、現金及び預金の増加（1,593,714千円から1,902,022千円へ308,307千円の増加）及び商品及び製品の増加（998,257千円から1,284,203千円へ285,945千円の増加）であります。

減少の主なもの、販売用不動産の減少（502,438千円から98,465千円へ403,973千円の減少）であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より317,469千円減少し、2,356,136千円となりました。

減少の主なもの、土地の減少（1,691,391千円から1,472,391千円へ219,000千円の減少）であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より865,484千円増加し、1,563,405千円となりました。

増加の主なもの、短期借入金の増加（300,000千円から850,000千円へ550,000千円の増加）及びデリバティブ債務の増加（264,377千円の増加）であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より54,893千円減少し、343,194千円となりました。

減少の主なもの、長期借入金の減少（161,100千円から110,581千円へ50,519千円の減少）であります。

純資産の残高は、前連結会計年度末より466,297千円減少し、6,233,346千円となりました。

減少の主なもの、利益剰余金の減少（472,053千円から135,505千円へ336,548千円の減少）及び非支配株主持分の減少（9,973千円から△119,735千円へ129,709千円の減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年11月12日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,593,714	1,902,022
売掛金	224,375	270,034
商品及び製品	998,257	1,284,203
仕掛品	232,112	334,170
原材料及び貯蔵品	18,815	17,289
販売用不動産	502,438	98,465
仕掛不動産	29,579	—
預け金	1,482,129	1,390,798
その他	55,622	512,824
貸倒引当金	△15,000	△26,000
流動資産合計	5,122,047	5,783,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,346,934	1,186,276
減価償却累計額	△714,503	△619,281
建物及び構築物(純額)	632,430	566,995
機械装置及び運搬具	524,448	497,003
減価償却累計額	△452,497	△442,378
機械装置及び運搬具(純額)	71,951	54,625
土地	1,691,391	1,472,391
その他	132,677	120,992
減価償却累計額	△106,247	△107,370
その他(純額)	26,429	13,621
有形固定資産合計	2,422,203	2,107,632
無形固定資産		
コンテンツ資産	3,925	—
その他	9,416	12,897
無形固定資産合計	13,341	12,897
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	100,071
出資金	10,205	10,105
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	115,371	115,340
その他	10,537	10,088
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	238,060	235,605
固定資産合計	2,673,605	2,356,136
資産合計	7,795,652	8,139,946

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,380	108,952
短期借入金	300,000	850,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	110,790	72,239
未払金	38,168	29,472
未払法人税等	27,896	44,396
デリバティブ債務	—	264,377
ポイント引当金	1,800	2,600
その他	98,885	141,368
流動負債合計	697,921	1,563,405
固定負債		
長期借入金	161,100	110,581
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,926	13,023
繰延税金負債	13,250	9,330
資産除去債務	202,858	206,305
固定負債合計	398,087	343,194
負債合計	1,096,008	1,906,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	472,053	135,505
自己株式	△31,243	△31,273
株主資本合計	6,689,736	6,353,158
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△65	△76
その他の包括利益累計額合計	△65	△76
非支配株主持分	9,973	△119,735
純資産合計	6,699,643	6,233,346
負債純資産合計	7,795,652	8,139,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	19,264,268	20,479,583
売上原価	17,989,926	20,176,281
売上総利益	1,274,341	303,301
販売費及び一般管理費	997,385	1,118,456
営業利益又は営業損失(△)	276,956	△815,155
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	808
国庫補助金収入	9,725	9,455
保険金収入	11,289	610
その他	1,309	6,038
営業外収益合計	22,345	16,912
営業外費用		
支払利息	5,886	8,459
休山管理費	53,408	57,605
その他	4,569	23,480
営業外費用合計	63,864	89,546
経常利益又は経常損失(△)	235,438	△887,788
特別利益		
固定資産売却益	83	63
投資有価証券売却益	—	10,251
特別利益合計	83	10,314
特別損失		
固定資産除却損	—	8,497
特別損失合計	—	8,497
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	235,521	△885,971
法人税、住民税及び事業税	10,822	33,222
法人税等調整額	△1,495	△3,919
法人税等合計	9,326	29,302
四半期純利益又は四半期純損失(△)	226,194	△915,274
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	234,539	△578,725
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,344	△336,548

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	226,194	△915,274
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	88	△10
その他の包括利益合計	88	△10
四半期包括利益	226,283	△915,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,255	△336,558
非支配株主に係る四半期包括利益	234,539	△578,725

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	17,021,168	186,195	985,589	478,939	584,461	7,915	19,264,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	11,669	—	—	—	—	11,669
計	17,021,168	197,865	985,589	478,939	584,461	7,915	19,275,938
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,859	5,375	46,402	467,624	29,729	3,738	558,730

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	19,264,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△11,669	—
計	△11,669	19,264,268
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△281,773	276,956

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△281,773千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△281,773千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	18,590,505	1,212,087	765,309	△1,173,852	1,034,466	51,065	20,479,583
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	11,047	—	—	—	—	11,047
計	18,590,505	1,223,135	765,309	△1,173,852	1,034,466	51,065	20,490,630
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	132,703	340,507	△1,774	△1,204,245	208,985	△12,290	△536,115

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	20,479,583
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△11,047	—
計	△11,047	20,479,583
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△279,039	△815,155

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△279,039千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,039千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。